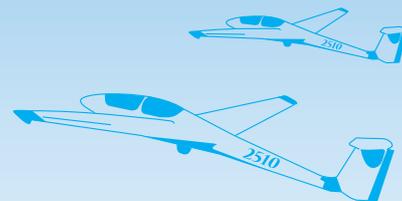


国際ロータリー第2510地区 2009～2010年度

ガバナー一月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

最終号



CONTENTS

- ガバナーレター☒……………1☒
- 代表幹事退任のご挨拶☒……………2
- ガバナー補佐退任のご挨拶☒……………3～8
- 地区委員会 委員長退任のご挨拶☒……………9～21
- モントリオール世界大会出席報告☒……………22
- GSE・スウェーデンでの記録☒……………23～24
- ローターアクト第37回地区大会☒……………25
- RI第2500地区ローターアクト地区大会に参加して☒……………26
- 2009-2010年度インターアクト年次大会報告☒……………27
- IM報告☒……………28～29☒
- 栗山RC…40周年の節目を祝う
新旧ガバナー補佐 引継ぎ会議報告☒……………30☒
新旧地区委員長
- 国際奉仕委員会ニュース
「チリ大地震災害義援金」報告
「そらぶちキッズキャンプ」支援金の報告☒……………31
- 訃報・新入会員の紹介☒……………32
- 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます☒……………33
- ローター財団へのご協力に感謝申し上げます☒……………34
- 出席率・会員数☒……………35～36

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 ガバナー 渡邊恭久



2009-2010年度 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
国際ロータリーテーマ ~The Future of Rotary is in Your Hands~



国際ロータリー第2510地区 2009-2010年度

【基本方針】

環境・人・子どもに目を向けよう

環境は地球人の普遍的テーマ

人は等しく生きる権利がある

子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない

【重点目標】

1. 小児ガンの子どもの夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう



年度を終えて

国際ロータリー 第2510地区

2009-2010年度 ガバナー **渡 邊 恭 久**

Yasuhisa Watanabe
(滝川IRC)

ガバナー就任への準備で2年半、そして本番で1年、あっという間に任期が過ぎてしまいました。短かったようで、また長くにも感じましたが、この歩みは充実した3年半でありました。

3年半前の2006年11月、滝川クラブ総意でガバナー立起への後押しを貰い、非力を承知で受けて以来、滝川クラブは勿論、第2グループ、地区内のロータリアン、パストガバナー、ガバナー補佐はじめ地区委員長、ガバナースタッフの温かく、力強いご支援のもとに役割を果たし、任期を満了することが出来ました。改めてこの誌上を借りて深く感謝を申し上げます。

今、ここでこの1年を振り返ると走馬燈のごとくいろいろなシーンが目に見えかえります。

各研修セミナーは、ガバナー就任前のプログラムで、ガバナー補佐セミナーに続いて、昨年2月、砂川クラブの見事な主管だったPETS、地区チーム研修、財団、米山セミナー、4月の地区協議会、6月の増強セミナーは、当然ながら出席率は各々の責任と自覚によって高く維持され、「入って学び、出でて奉仕」を実践したものでした。これらのセミナーはクラブリーダー、地区内会員に対し伝える、刺激しあう、考える、そして自覚をするもっとも大切な機会を効果的に提供出来たと思っております。

地区大会、IM、周年式典行事などで、地区大会は地方都市での開催ということで、参加者1,500名の収容力、宿泊、滝川へのアクセス、主管する滝川クラブの経験不足などに不安がありましたが、会員の総力、工夫、知恵、熱い情熱でそのハンディキャップを克服したと自賛しております。

IMは、北海道のように遠く広い地区では、地域が抱える問題、情報の交換、交流などのため効果的なミーティングの機能を持っていると確信をしました。各グループは地域の伝統、慣習を合意と共感を基盤に特色あるプログラムで開催をしていました。クラブの周年行事は、5年刻み、あるいは10年、25年の単位で奉仕の歴史を確認検証し、先達に対する労いと感謝、地域社会へ活動の露出は更なる発展への足がかりになり、クラブの周年行事は意義深いものであると感じたことでした。

公式訪問は、地区内73クラブを一部を除いて、一つ一つを丁寧に回ったつもりであります。各クラブは、まちの人々から信頼と期待を受け、地域にしっかり根を張って活動をしておりましたし、そのクラブの慣習が個性となって、独特な味わいを醸し出しているクラブもありました。例会の雰囲気や社会奉仕の地域奉仕は理念や型ではなく、善意と思いやりが和やかさとなり、奉仕の形となって地域の信頼を受けているのだと改めて確認をしたものであります。

そらぶちキッズキャンプの支援、当初地区が事業を持つのはおかしい、あるいは特定地域の振興のためにガバナーが地区内クラブに呼びかけるのは、我田引水との意見もありました。

しかし、そらぶちキッズキャンプ支援には、地区がそのために予算を持つことなく、また、会員の金銭や汗を強く求めるのでもなく、アジアで初めて、日本でただ一つのキャンプ。一人では生きていけない、明日への夢や生きる希望の持てない小児がんや難病の子供たちに、手を差し伸べ彼らが生きよう、また来年もこの楽しかったキャンプに来よう、キャンプで出来た友達にまた会うために、生きる力を自分で呼び起こすこのキャンプが、北海道の地区内に造られたから、それを支援しようでありました。以来、ガバナー補佐の並々ならぬお力で地区内クラブは勿論、地区外のガバナーやロータリアンの支援をも受け、

今では大きく当地区が提唱した人道的な事業として広がりつつあります。ご支援をいただきました皆様に心からお礼を申し上げます。

地区委員会は本年度31の委員会を持ち、諮問性あるいは機動的機能を持つ委員会、事業を推進し、クラブに支援をする委員会など役割がそれぞれ異なりましたが、複数年にわたり準備し、継続的に進めてくれた事業、RIと連携し外国を対象として事業に取り組むなど、専門性と経験を生かし、汗と知恵で成果や実績を上げてくれたことに敬意と労いを申し上げます。

振り返りますと、走馬燈のシーンは限りなく続く、充実した3年半でありました。

あらためて、ご指導をいただき、あるいはお引き立てを下さり、ご支援をいただきました数多い皆様の温かい善意と思いやり心から感謝を申し上げ、年度を終えての挨拶といたします。



代表幹事退任のご挨拶

退任挨拶

国際ロータリー第2510地区

代表幹事 **神部 洋史**

Hiroshi Kanbe
(滝川IRC)

一昨年の7月に矢橋年度のスタートから見習い地区幹事として、大金前代表幹事はじめ札幌西クラブのスタッフに地区運営について教えて頂いたのですが、当然の事ながら傍観者同然の私には何の責任も無く、ただひたすら渡邊年度に恙無く引継ぐことを念頭に置いた、いわば仮免許の試運転でした。ご迷惑をお掛けした前年度スタッフに感謝申し上げます。

滝川クラブは会員数では地区内上位を堅持していますが、地区委員を経験した会員が少なく、地区の情報に疎いため地区運営に支障を来してはいけないとの理由で、指名委員会(会長経験者で構成)のご判断で、見習い幹事の他に矢橋年度のガバナー補佐まで拜命されました。そんなことで準備期間は二足の草鞋を履くことになりました。昨年1月末、渡邊ガバナーが国際協議会から年度テーマを持ち帰り、地区目標の策定などの課題が具体化されると直ぐに2月28日と3月1日の会長エレクト研修セミナー(PETS)となりました。PETSに合わせて、他にガバナー補佐・地区チーム・財団・米山の4つのセミナーのホストを砂川クラブにお願いしたところ、素晴らしい設営とご努力で最初の難関を無事越えることができました。砂川クラブの皆様衷心より感謝を申し上げます。4月には滝川クラブがホストで地区協議会を「地区大会のリハーサル」と捉えて、大会実行委員会に設営をお願いしました。通常、地区大会のホストクラブはPETSや地区協議会のホストをしないで、地区大会に全力を傾注するというのを後に知りましたが、逆に地区協を受けることで良い緊張感を維持して地区大会に臨めたと思います。地区大会のご評価は色々おありでしょうが、地方都市で出来る事はすべて出し尽くしたと思っております。参加戴いた会員諸兄、ご登録戴いた皆様方と、ご協力をいただいた第2グループの皆様方に感謝申し上げ、実行委員会を組織した滝川クラブに最大級の敬意を表します。ありがとうございました。

既に記録誌も配布が終わり、「新旧ガバナー補佐・地区委員長合同引継ぎ会議」を終え、文字通り「政権移譲」の最終段階であります。在任期間中の出会いに感激を新たに、ご迷惑を深謝し、ご尽力に感謝を申し上げます。挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



ガバナー補佐退任のご挨拶



ガバナー補佐を終えて

第1グループ担当 ガバナー補佐

田中公一

Kouichi Tanaka
(留萌RC)

第1グループは5クラブで、歴史と伝統の深川RC、人数は少ないのですがチームワークの妹背牛RC、グループ内では一番活気のある羽幌RC、留萌クラブが一番頼りにしている小平RCと個性的なクラブです。訪問時には、どのクラブも歓迎していただき改めてお礼申し上げます。また1985年、岩見沢市での開催以来、札幌以北24年ぶりの、滝川市での地区大会への参加、「そらぷちキッズキャンプ」にも快く協力していただきました。WCS検証ツアーと3700地区大邱の地区大会で、渡邊ガバナーや地区役員の皆様とご一緒できたのも良い思い出です。11名の補佐の皆様と知り合いになれたこと、今後も交流が続くことも特筆すべきことです。第1グループは当分の間、深川・羽幌・留萌の3クラブでガバナー補佐の選出となりますが、第2グループのご理解とご協力をいただき、合同IMが開催出来ましたら、妹背牛RCや小平RCからもガバナー補佐の選出が可能になると思います。退任挨拶を書くにあたり、1年半前、旧厚生年金会館のホテルで開催された、ガバナー補佐予定者の会合でとても緊張していたのを思い出し、今は感謝の気持ちでいっぱいです。

『ご指導いただき、有り難うございました』



振り返ってみて嬉しかった事

第2グループ担当 ガバナー補佐

北谷好文

Yoshifumi Kitaya
(砂川RC)

1)第2グループから渡邊恭久ガバナーが誕生し、ロータリー活動に携われた事。2)滝川において地区大会を盛会に開催でき、第2グループ全会員の登録を頂いた事。3)赤平、芦別、滝川、砂川の各クラブを回って、渡邊ガバナーに随行し和やかな中に公式訪問を無事終了した事。4)公式訪問とは別に各地を訪問し会長、幹事会を開催し友好懇親を深めると共に、各クラブの皆さんと親しくなれた事。5)地区内のガバナー補佐の仲間と親しくして頂き友好を深める事が出来た事。6)砂川においてIMを実施し、多くの会員に出席頂き感謝すると共に、出村WCS委員長に講話をして頂き大変お世話になった事。7)IMと同日開催の砂川RC40周年記念式典が盛会裡に終了した事。8)IMの開催に当たり、千葉実行委員長、杉本副委員長、山崎幹事を始め砂川クラブの皆さんにお世話になった事。指導力のなさで、多くの会員にご迷惑をお掛けしました。深くお詫び申し上げます。

一年間大変お世話になりました。



ガバナー補佐退任にあたって

第3グループ担当 ガバナー補佐

嵯峨 義輝

Yoshiteru Saga
(岩見沢RC)

早いもので、もう一年の月日が流れてしまいました。補佐を引き受けるにあたり、不安でいっぱいでしたが、グループ内の会長、幹事さんをはじめ会員皆様のご協力で職責を何とか果たすことができました。グループ内事業としての、ゴルフ大会、パークゴルフ大会、IMの開催等、担当クラブの絶大なるご協力をいただき、それぞれが成功裡に履行できたことに心から感謝いたします。クラブ訪問では、好意と友情をもって温かく迎えていただき、それぞれのクラブの特色ある運営を学ばせていただきました。各クラブでは会員増強が思うように進まないなど、苦悩を抱えながらも、地域のニーズに沿った奉仕活動など、特色あるクラブ運営に尽力されていることがうかがえました。

貴重な体験をさせていただき、また、楽しい一年間でありました。

最後に、ご指導いただきました渡邊ガバナー、グループ内の会長、幹事をはじめ会員の皆様に心から感謝申し上げます。



一年をかえりみて

第4グループ担当 ガバナー補佐

荒 紀男

Norio Ara
(札幌RC)

一年間、ガバナー補佐として貴重な経験をさせて頂きました。渡邊ガバナーには本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ロータリアンとしての社会観、ロータリーに対する献身的な行動は、我々ガバナー補佐のメンバーも私と同じ思いでいた事は過言ではないと思います。

そのモデルクラブが滝川IRCです。人口4万5千人の町に百名のロータリアンが在籍しているクラブは全国でも珍しい事で、昭和33年の創立で53年の歴史があるクラブです。代々引き継がれてきた会長のロータリーに対する熱い思いと、会員同士の地域に対する親睦の和が、常にブレることなくゆっくりゆっくり時を刻んできた成果なのかなと思う一人です。私がこの一年間の間に滝川に8回行き、その内5泊しました。私は夜の滝川の歓楽街が大好きです。まだまだ古き良き時代の街がそこにしっかりありました。人情味あふれた、そして温かく迎えてくれる街、大好きです。

本当にこの一年間ありがとうございました。そして代表幹事の神部さん、御苦労様でした。

ガバナーをサポートしながら2510地区のすべてのロータリークラブの業務をこなし、ガバナーとの名コンビでした。でもまだやらねばならない件があります。それはガバナーが第一の重点目標にしておりました『そらぷちキッズキャンプ』の支援です。小児がんの子供たちに夢や希望を与えるこの支援を、渡邊ガバナーが提唱されたことに私も感動しました。そしてガバナー補佐としての誇りを持ちました。これからも微力ながら応援していくつもりです。本当に感動をありがとうございました。そして滝川IRCの皆様、これからも2510地区の御手本として頑張ってください。



ありがとうガバナー補佐 第5グループ担当 ガバナー補佐 江口 洸

Hiroshi Eguchi
(札幌清田RC)

改めて地区ガバナー補佐を拝命された時の事を思い出しております。「事業の道徳的水準を高め、ロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。」この文言を心にガバナー補佐としてロータリアン及び社会の皆様のお役に立ちたいと考えましたが、実際ガバナー補佐として会長・幹事会、公式訪問、と携わってみますと当初心に強く念じた文言だけの事ではとてもガバナー補佐としての責務を遂行して行けないのではないかと思い知らされ、それからの事を悩みましたが、行事が進むに連れ、各クラブの皆様から頂いた感動、行事を促す力に助けて頂き、超我の精神に立ち戻り何とか前半を乗り越えられましたが、一息つく暇もなく第4・第5グループ合同IMの開催準備が押し迫っておりました。

私はこの大役を命じられ、推し進めて行けるか不安でしたが、第4グループ荒ガバナー補佐、阿部IM実行委員長及び会員の方々の力を頂き無事、成功裡に終えることが出来ました。又、ガバナー補佐としての任期をなんとか終えることが出来たのも渡邊ガバナーを初め各クラブの会長、幹事及び会員の皆様、そして行事開催時に於ける関係者の皆様方のお力添えの賜物と感謝をしております。御礼申し上げます。

これからは、ガバナー補佐としての貴重な体験を基に一会員として少しでも社会の役に立てる様一層の努力、研鑽を重ねて行く所存ですので、今後とも皆様方のお力添えをお願いいたします。

ロータリアンとしての素晴らしい1年を頂き、本当にありがとう御座いました。



一年半を振り返って 第6グループ担当 ガバナー補佐 見延 庄三郎

Shousaburo Minobe
(小樽南RC)

—昨年12月、今期ガバナー補佐の委嘱状を頂いてからの此の一年半は、会長時代とは違った意味で質度の高い、我がロータリー人生の一時期となりました。会長は自らがクラブの運営主体でなければなりません、補佐はガバナーと会長、幹事の間において両者の機能発揮の為の触媒作用を担当するようなもの。出過ぎず引込み過ぎず、ガバナーの意向を体しつつ、又各クラブの自主性、独自性を損なうことなく支援する…結局気を使った割にはあまり役に立たない存在であったかもしれません。然し、IMだけは補佐の責任執行事項と心得、ガバナーのお力添えと各クラブの理解と協力を頂きながら、「ロータリーの魅力」に就いて語り合った、内容の充実したフォーラムとすることが出来たことは良かったと実感しています。補佐と言う役割は二度とはやりたくありませんが、良い経験をさせて貰いました。本人の意思と能力もさることながら、触媒機能をもっと発揮しやすい位置づけがあればもう少し役に立てたかもしれません。言いわけはこの位にして、皆さんに心から御礼を申し上げます。有難うございました。



一年間を終えて

第7グループ担当 ガバナー補佐

加藤 寛治

Kanji Katou
(北広島RC)

5月29日の第7グループIMをもって、ガバナー補佐としての公式行事をほぼ終えることが出来ましたが北広島クラブを除く、クラブ訪問を23回致しました。複数回訪問しているうちに各クラブの考え方、特徴を理解することが出来ました。

小クラブが多い当グループは会員同士、一致団結し、クラブの活性化、会員増強に努めて頂きたいと思えます。下半期は当グループの行事として4月のGSE受入れ、5月に開催したIMがあり、特にGSEでは他のクラブにもご協力頂き、GSE団員が非常に喜んでおられたのを嬉しく思いました。また、第7グループは交換留学生の派遣も数多く行っており、今後とも発展させていこうと思っております。道立高校を始め、受入れが最近減少しておりますので2510地区としても各学校に協力の呼びかけを是非お願いしたいと思えます。

ガバナー重点方針「そらぶちキッズキャンプ」につきましては徐々に理解して頂き、協力して頂いた事と思えます。特に恵庭RC40周年記念式典と北広島RCでのIMにおいて合計17万円程度の寄付が集まりました。会員の皆様には感謝致します。一年間ガバナー及び地区委員の方々にご指導頂き、改めて感謝の意を表したいと思えます。



補佐の一年をふりかえって

第8グループ担当 ガバナー補佐

山田 博継

Hirotsugu Yamada
(三石RC)

不安と戸惑いながらガバナー補佐を引き受けましたが、渡邊ガバナーの温かいご指導と第8グループの会長、幹事を始め各クラブの皆様の友情に支えられながらの有意義な一年でありました。

私の補佐年度に、タイ国ノンカイ地区の女子大生2名が三石RCへ研修と交流を深める為来訪し、第8グループ各クラブは固より、他グループのRCの例会に訪問したり、WCS委員と会食する等、多くの方々との交流と親睦を図り、日高、北海道の素晴らしさを印象づけて帰国した事と思えます。又、ガバナーの声掛けがありまして韓国第3700地区大会に参加させて頂き、その大会が厳粛に行われ多くの方々を魅了したことでしょう。合わせてご当地のロータリアンのご厚情に接し大変意義ある大会に参加することが出来ました。

お陰様で一年間、無事に終える事を出来ました。第8グループの皆様の温かいご指導があったからこそと心から感謝申し上げます。



多くの人々の出会いに感謝

第9グループ担当 ガバナー補佐

黒田 秀雄

Hideo Kuroda
(室蘭東RC)

ガバナー補佐就任の際、ガバナー事務所から名刺を頂戴致しました。当然100枚入りです。当初任期中に交換する名刺の量はたかだか半分も使うこともないと考えていました。6月末現在、手元に残っている枚数はわずか10数枚です。

渡邊ガバナーは勿論、パストガバナー、ガバナーエレクトを始めとしての名刺交換、地区各委員長、委員、各ガバナー補佐との挨拶を交わすうちに約1/3程を使うことになりました。各クラブ訪問、会長・幹事会、IM開催、GSEの実行委員会、年度末の新旧会長・幹事会の引継の際、新役員との名刺交換、その結果が残り10数枚となった訳です。

それぞれの出会いが「一期一会」ではありますが、ガバナー補佐就任の機会を与えて頂ければこそ、多くの人々との出会いでした。

この一年間、第9グループの会長、幹事、役員、会員の皆様の出会いに多くの事を知り、多くの事を学ばせて頂きました。

そして皆様の協力が無事任期を終える事と多くの人々に出会えた事を心より感謝とお礼を申し上げます。



緊張と高揚感の中で...

第10グループ担当 ガバナー補佐

近藤 宣明

Nobuaki Kondou
(森RC)

思えば2009年3月、会長エレクト研修セミナーでのグループ別討論会での発表。そして渡邊ガバナーの基調講演、なにかんづく、ビルゲイツのポリオへの追加支援に対するさらなる負担など、不安と模索の中でのスタートであったと思

出されます。

しかし、この18ヶ月は第10グループの会長、幹事、会員の協力を始め、森RCのメンバーの理解のもとに、その任を終えようとしております。郊外クラブに所属する私は、歴史ある市内クラブを訪問する毎に多くのことを学び、知る機会を頂きました。異なったビジネス・パートナー、そのパーソナリティは自分にとって得がたい友人との出会いとなりました。そして今年度の第10グループでは3クラブが、周年記念式典を開催、森RCも14年ぶりのIMを実施できたことも大きな収穫だったと考えます。又、渡邊ガバナーが提唱した「小児ガン・そらぷちキッズキャンプ」は多くのロータリアンに感動を与えてくれました。第2510地区の役員の方々の皆さま、各ガバナー補佐のみなさん、第10・11グループのロータリアンのみなさん、ありがとうございました。



ほどほどの精神で一年間 第11グループ担当 ガバナー補佐 石橋輝夫

Teruo Ishibashi
(函館北RC)

クラブからガバナー補佐を選出することになり、「君が年金生活で時間に余裕がありそうなので」と指名され、早や一年半。「ほどほどの精神で」と気楽に引き受けましたが、クラブ訪問などで自分の勉強不足を思い知らされました。にもかかわらず各クラブ共温かく歓迎していただき、ロータリーの友情に感謝しております。

また、ガバナー始め地区役員の方たち、ガバナー補佐の皆さんとは初対面で緊張しましたが、直にうち解け、楽しく親交を深める事が出来ました。

担当する地域は道南で、会長・幹事会やIMを始め、何をするにも第10グループと合同で行うのが慣例になっております。IMは今年久しぶりに森RCの主管で開催。会長・幹事会が6回、周年式典は4クラブで行われました。

忘れられない思い出に、韓国RI第3700地区の地区大会に参加したことです。国が違えば大会運営もずいぶん違うなと思いましたが、新入会員や新設のクラブが多く紹介されていました。

ただ一つ気掛かりなのは松前RCです。年度初め6人でしたが、途中で会長、幹事、他1人が退会し、残り3人で継続できるのかと？

なにはともあれこの一年間、皆様には大変お世話になりました。



一年を振り返って 第12グループ担当 ガバナー補佐 菅野嘉一

Yoshikazu Sugano
(苫小牧東RC)

ガバナー補佐の指名をいただいてから約1年半ほどの間ですが、多くのことがありました。

勉強しながらの12グループの訪問であり、反省も多くありました。

渡邊ガバナー年度の最初の公式訪問が7月9日に私の所属するクラブから始まりました。当日は大変緊張した中で渡邊ガバナーを迎えました。後でお聞きしましたが、ガバナーも最初なので大変緊張した事を知り、渡邊ガバナーのやさしいお人柄にふれ、又色々のご指導を受けながら全体としては楽しいガバナー補佐年度でありました。又4月の韓国訪問では、地区役員の方々と楽しい旅行になり感謝、感謝であります。

終りに当たり、地区役員、ガバナー補佐そして12グループの皆さんに感謝申し上げ、ありがとうございましたと終わらせていただきます。



地区委員会 委員長退任のご挨拶

会員増強委員会報告

地区会員増強委員会

委員長 矢橋 温郎
(札幌西RC・PG)

現在の段階では年度末の集計が出ていないので5月末現在で見ると62名の増加となっているが、年度末で大幅に減少するのは例年の通りである。

各々のクラブで会員増強は財政的にも必要であるが、どうしたら会員増強出来るかと云うと大変難しい問題である。私は先ずクラブを立ち直らせる事が先決ではないかと思う。クラブを良いクラブにすれば自ずと会員も増えて来ると考える。

量も大切であるが質の良さを考えて選考されたい。ロータリーは各界で選ばれた人の集まりであるのだから規律は厳守して欲しい。特に出席に関しては…それによって必ず道は開けると思う。

永遠の課題

地区拡大委員会

委員長 塚原 房樹
(札幌東RC・PG)

拡大と会員増強はロータリーの永遠の課題です。

拡大とは、ロータリー・クラブがまだ存在していないところに、新しくクラブを設立してロータリーを拡大し、会員数を増やす活動です。しかし地区内にそのようなところはなくなりました。国際ロータリーの目的は、全世界にわたってロータリーを奨励し、拡大し、管理することとあります。つまりRIは奉仕理念の提唱と拡大と情報伝達を目的として結成された組織ですから、常に拡大と会員増強を提唱し続けなければなりません。

それを踏まえて年度当初、私は次のような活動方針を立て各クラブに呼びかけました。

1. あなたの近郊に、未だロータリークラブのない町村がありませんか？
2. あなたの地域で、モーニングクラブやイブニングクラブの設立を模索できないでしょうか？
3. 食事は自宅で済ませ、活動費のみの会費の安いクラブの設立はいかがでしょうか？

しかし残念ながら各クラブからの反応はありませんでした。私の力不足を反省しています。

新クラブの結成は、最初は中心都市に1クラブでしたが、やがて各市町村に1クラブ、そして中心都市にはテリトリーを共有した2階建て、3階建てクラブが見られるようになりました。地区ガバナーとしての第一の任務は新クラブを結成することです。しかし現状では地区内に新クラブが結成できるようなところはまずありません。そこでガバナーは苦渋の決断の末、自分のクラブのテリトリー内に既存会員をキーメンとして移籍させ子クラブを作るようになりました。しかしこのことにより会員増強が難しくなります。同じパイの中で競合するので両者とも会員数は伸び悩み、クラブ活動に消耗をきたします。RIは拡大の次の一手としてe-クラブの結成を今年の規定審議会で採択しました。1地区に2クラブまで認めるということですが、例会も開かない、ネット上のサイバークラブが果たしてロータリークラブとして地区内のクラブに受け入れられるのでしょうか。RIの人頭分担金は増えるでしょうが、今後の展開を見守りたいと思います。



退任挨拶

地区オン・ツー・モントリオール委員会

委員長 酒井 正人
(函館五稜郭RC・PG)

2010年6月20日から23日にかけて、カナダのケベック州モントリオールで開催されるRI国際大会にあわせて、例年同様2コースを企画致しました。

モントリオール滞在型で大会出席を主体としたコースと、バンクーバーからカルガリー、バンフを経てモントリオールへ入る観光を兼ねたコースでしたが、両コースあわせても例年と比較して参加者が少なく、中止も視野に入れ検討をいたしました。何とか決行でき、役目を果たすことができ安堵しております。

直接モントリオールへ向かった方々はそれぞれに役目を果たすことが出来たとのことですし、観光組の方々も時間をかけた親睦がはかられ、必要十分な情報収集が出来たと聞いております。オン・ツー委員会は時代には合わないのではとの指摘もありますが、今年度は国際大会委員会の委員をお務めの小沢一彦RI直前理事の肝いりで、各地区に推進担当者を初めて設置しての国際大会でただけに、当地区としてもその責務を果たすことができましたことは地区の皆様のご協力の賜と感謝し、御礼申し上げ、退任の挨拶といたします。

委員長退任の挨拶

地区文献資料室

委員長 肘井 博行
(札幌手稲RC)

1. 地区文献資料室では、他の地区に比類なき量と質の文献を所持しています。これら豊富な資料が「宝のもちぐされ」とならないよう、地区会員及び地区クラブの活用を広げて行くべく努力をしました。
2. また、委員会では、この2年間、多数となりました文献の保存方法について、DVD化などスリム化に努力してきました。「貸出しリスト」を改訂中であり、来期早々に各クラブにお届けできそうです。
3. 次年度は若い、しかも広報関係のプロが委員長、委員となります。そのことで、資料室からの発信も増え、この時代に応じた文献資料室に変わると思われます。より一層、みなさんが利用し易い、文献室の発展を期待し退任の挨拶とします。

CLP導入に向けて

地区クラブ奉仕委員会

委員長 小田切 房之
(札幌東RC)

地区クラブ奉仕委員会は、CLP導入に向けての検討を2年間にわたり議論してきました。

1. 活動計画の指標についてグループごとに集計し現状を把握した。
2. 千歳セントラルRCを訪問しCLP導入の成功事例を学んだ。
3. 「ロータリー運動の祖形再考」を発行。

レイ・クリンギンスミスRI会長エレクトのメッセージに、「クラブに前向きな意欲がみなぎると、地元地域をも元気にすることができる。そして私たちの存在と奉仕によって地域社会が活性化されると新しい会員がもたらされる」とあります。



佐々木ガバナーエレクトは、「地域ニーズを踏まえて地域密着の奉仕活動を実践しよう」と目標のひとつに掲げています。

お二人のメッセージを具現化するにはCLPの導入が最適であります。勿論クラブの地域性や会員数、伝統や文化により手順は工夫すべきでしょう。そこで大切なのは奉仕心のポテンシャルをいかに上げるか“青春の詩”にある様なロマンが必要なのではないのでしょうか。

札幌東RCは昨年50周年記念事業として「ヒブワクチンの定期接種化」運動を3ヶ年計画で実施しました。時代に先駆けた難題でありましたが、本年(2年目)4月、札幌市は半額補助の制度を施行しました。社会奉仕活動を中期間、プロジェクト化したという意味でCLP手法のひとつとって良いのではないのでしょうか。長期的に地域の課題を取り上げてプロジェクトとして立ち上げ、形が整ったら引渡して行く、そんな方法はいかがでしょう、例えば札幌モーニングの「カミネッコン植樹」運動の様な…。第2840地区パストガバナー曾我隆一氏が、CLPは「クラブの活力、元気を再生する」と述べています。正に「伝統的な慣習を見直し明らかにもっと良い方法があれば新しい伝統を始めるべき」であり「ロータリーの未来はあなたの手の中に」あるのです。

IC委員会報告

地区IC委員会

委員長 光 銭 健 三
(北斗RC)

2年目の委員長ということで何か新しい活動としましたが、多くは前年度からの継続事業となりました。4回目となる「5分でできるホームページ作成講習会」を開催し、22名の参加者が受講されました。この講習会ではWord Pressというソフトウェアを利用しているため、特別な知識を必要とせず、ブログ感覚でホームページを作成、更新できます。現在、地区内のホームページ開設クラブは33クラブ、地区委員会では8委員会が開設しています。一般の方への広報や地区内、クラブ内でのコミュニケーションの輪を広げる目的でホームページを活用することは会員増強や退会防止にも役立つと考えられ、今後もこの講習会を開催し、ホームページが増えることを期待しています。地区大会ではブースを開設し、多くの方に訪れていただき楽しい情報交換の場となりました。また今回は過去5年分のガバナー月信を単語検索できるようにしたファイルやロータリー活動に役立つ情報を収録したCD-ROMを配布し好評でした。次年度もさらに内容を充実して制作する予定です。

また委員が分担してメールマガジンを配信しました。内容は『友』インターネット速報、ハイライトよねやま、ロータリー為替レートのお知らせ、地区ホームページ更新のお知らせ等です。現在の登録者数は約500名で、1年間で配信したメールは120件でした。

今年度から地区ホームページをリニューアルし、さらに見やすくなりました。各地区委員会の情報量も増やしました。ガバナー月信を含め、過去のホームページが閲覧可能で、また様々なロータリー関連の資料も保存してありますので地区ホームページは資料保存という面でも役立っていると思います。IC委員会のメンバーはメーリングリスト(メールを出すと登録者全員に同じメールが届くシステム)で頻繁に情報や意見交換をしていますが、時には顔を合わせる会議も必要で、今年度は3回の委員会を開催しました。会議には櫻井次期地区幹事や委員会OBの方にもご出席いただき、たいへん有意義な会議となりました。1年間、皆様の温かいご支援を賜り、また委員会メンバーに支えられ無事に任期を終えられたことを感謝申し上げます。



職業奉仕委員会報告

地区職業奉仕委員会

委員長 山本 雅 昭

(苫小牧北RC)

職業上の高い道德水準、倫理観を各クラブで独自の形でお話していただき、できれば職業奉仕フォーラムを開催し会員同士での意見交換をし、職業人としてのロータリアンのあるべき姿を模索してもらう事、ロータリーの綱領に則り、四つのテスト・職業宣言を会員への理解に努めていただきたいと言う事、そして、子どもたちの出前事業・職場体験に協力していただき、子どもたちの思い出、記憶を高め、未来ある子ども達の手助けをして欲しいとお願い致しました。

本年度はRI会長並びに渡邊ガバナーの重点目標として掲げられた職業奉仕の倫理観を考えていただき、いろいろな形で独自に奨励していただきました。

結果としては、その倫理高揚およびプロジェクト等を奨励し意識を高めていただけたのではないかと思います。

新年度の地区職業奉仕委員会が始まると同時に、第6グループ会長・幹事会での卓話から始まり、10月の職業奉仕月間における地区内クラブからの卓話要請に地区職業奉仕委員会委員の皆様のご協力をいただき対応させていただきました。さらに、出前授業・職場体験に関しては、数十件の問い合わせがあり、委員会から振り分け対応を行っております。その後のフォローができておらず事例の報告が進んでおりませんので、きめ細かな整理を今後進めていかなければなりません。課題を見極める一年ではなかったかと思えます。

心に残った一年

地区社会奉仕委員会

委員長 阪 崎 健治朗

(札幌西RC)

この一年は、今までにないほどの多忙な日々でした。通常の活動の他、当年度は滝川にある「そらぶちキッズキャンプ」への取り組みを第一に挙げられた渡邊ガバナーの期待に応えるべき活動が浮上しました。もちろん当委員会だけでできたわけでもなく、全クラブの理解と共感と協働が一つとなつての成果であります。何事も初めは無から始めなければなりません。情報の提供によって「知る」ことになり、知った事によって「理解する」事に繋がり、「実行する」という一本の線によって業は広がり、やがて大きな面となつて効果をあげていくのです。ロータリーはどんなときにも底力を持っており、いかなる苦難も乗り越えるエネルギーとパワーを持っているということを実感しました。そして大勢のロータリアンの励ましを受け、ささやかな支援をすることが出来ました。今回の「そらぶちキッズキャンプ」への行動は単に募金や寄付を主眼に訴えたわけではありません。子ども心に自分のいのちの限界を知り、元気に遊ぶ子どもたちとの間には悔しいが大きな壁を感じ、病院と家との間しか空間を持たない子どもたちの心の深いところでの苦悩を想像すると、わたしたちも何か役に立つことがあると発見したのです。ロータリアンは多くの募金や寄付に優しい心を添えて行動しました。その喜びの一部を分かち合える事が出来たのです。時は過ぎて行きます。しかし私たちの取った行動は、私たちの心を清新にしてくれました。そして子どもたちが一日でも長く生き、いつまでも楽しかったキャンプの思い出を忘れずにと願います。人には生きる時間がどれだけあるのかわかりません。それでも子どもに与えられた時間の中に、大きな声で笑い、見知らぬ病の少年たちと出会い、そしてドクターや多くのボランティアと親しくする場にいた子どもたちは、生きる勇気と希望をもったに違いありません。今度



はまだ参加していない子どもたちにもこの喜びを分かち合う番です。ロータリーは常に目を覚ましています。そしてその目はいつも輝いている、そう感じた一年でした。

ご挨拶

地区国際奉仕委員会

委員長 中村 真規
(札幌西RC)

多くのロータリアンは国際プロジェクトに参加して、初めてロータリーの意味を本当に理解することができたといっています。その経験が、親睦、奉仕に、新たな広がりをもたらします。ロータリーの青少年交換学生、国際親善奨学生、GSE、米山奨学生等の活動は、グローバルな相互理解に貢献しており、世界社会奉仕(WCS)プログラムは、援助を必要とする国々と、労力や資金を喜んで提供する人々とを結びつけています。当2510地区においても、精力的なWCS活動が行われているのはもちろんのこと、各クラブでは、青少年交換、GSE、インター、ローターアクト等の奉仕活動が積極的に行われていることは、大変心強いことです。地区国際奉仕委員長として、力不足でお役に立つことが出来ませんでしたことをお詫び申し上げるとともに、今後もこの国際奉仕の輪が引き続き大きく展開していくことを期待しご挨拶と致します。

WCSが教えてくれたロータリーの素晴らしさ

地区世界社会奉仕委員会

委員長 出村 知佳子
(札幌北RC)

WCS委員会には、副委員長3年、委員長3年の6年間携わらせて頂きました。このうち事業が動きだしてからの5年間、毎年タイやインドネシアの事業の検証ツアーにガバナー、WCS委員、クラブのWCSの皆さんと参加しました。その中で、WCS事業の素晴らしさに圧倒され、相手国の皆さんの笑顔を見て、私達ロータリアンの支援がこんなにも大きな喜びを得ることが出来るのかと強く感じました。これに携わった立場として、地区内の皆様に伝える役目があると思えました。事業を通じて様々な方々にお会いでき、多くの忘れられない、かけがえのない場面を思い出します。事業を行った小学校で子供達がいつまでも追いかけて、見送ってくれる姿、現地のロータリアンが共に喜び涙した姿、持参した雪だるまを拝んでいるお年寄り、厳しい環境の中、笑顔を絶やさない孤児院の子供達、そして共に活動して下さった地区のWCSの皆さんの笑顔。どれもかけがえのない思い出として鮮明に残っています。駆け出しのロータリアンだった私はWCSでの経験を通して、ロータリーの素晴らしさを強く感じた6年間だったと思います。地元の抱える問題の大きさに、時に愕然としながら、自分達は何ができるのだろうかと考え、やはり事業を実施していくことが必要であり、小さな支援なのかもしれないが子供達を幸せにするお手伝い出来る事業であるということを確認しながら継続していくことが出来ました。これまで、事業、ツアーに参加して頂いたクラブの皆様、現地のロータリアンの皆様、いつもサポートして頂いたガバナー、代表幹事、ガバナー補佐の皆様にご心より感謝を申し上げ、委員長退任のご挨拶とさせていただきます。今後ともWCSへの御理解、サポートをよろしくお願い申し上げます。

新世代委員会報告書

地区新世代委員会

委員長 松見修二

(函館北RC)

地区新世代委員長を3年間に渡り務めさせて頂き、各クラブの皆様には多大なご協力を頂いたことに感謝申し上げます。この3年間でどのような成果があったかは今以て不解なところで、私なりの感想と意見を述べさせて頂きます。

初年度は、引き継いだ委員会のあり方を基本として計画方針を立て実践に努めました。具体的には地区協議会で分科会を行い、各クラブから新世代の取り組みについての発表と意見交換を行いました。持ち時間に制約があり参加した全てのクラブと意見交換が出来なかったことが反省点としてありました。2年目は、この反省点を踏まえ、上期終了時に各クラブから新世代とこれに関連した社会奉仕活動の報告を頂き、報告書にまとめそれぞれのクラブへ配布しました。

3年目は、新世代月間に因んで各クラブの協力を頂き、ガバナー月信に新世代グラビア写真を掲載しました。3年間担当して地区新世代委員会の私なりの考えを述べます

1. 地区委員会組織図について。

組織図では、インター、ローター、青少年交換委員会の統括委員会が新世代委員会となっているが、各委員会には委員長が居り独自のプログラムで活動していて、情報交換を考慮するならば違った位置付けが必要である。地区新世代委員会の本来の役割は、各クラブの新世代委員会をサポートするもので、ガバナー補佐と同様に各グループ内から担当委員を選出し広い活動が本来の姿と考える。

2. 特別資金の運用について。

インターはじめ各委員会は地区特別資金によってプログラムの円滑な活動を行っている。特にインターはスポンサークラブの会員減少によって資金が窮屈な状態にある。特別資金は新世代関連の各委員会が連携を密にし、資金の有効活用を立案し、各クラブへ情報公開することが望ましいと思われる。

ロータリーを去るに当たり、思うところを述べたが、今後の参考になれば幸いです。

青少年交換委員会報告

地区青少年交換委員会

委員長 渡辺哲則

(札幌東RC)

会員の皆様を始め多くの方々にご理解とご協力を頂き、青少年交換プログラムを宮崎前委員長から継続することができたことに感謝申し上げます。青少年交換委員会はプログラムの性質上、ロータリー一年度(6月30日)で区切る事の出来ない委員会です。11ヶ月以上1年未満(又は、地区間の合意により1学年度)と言う長期プログラムこそがロータリーの最高のプログラムであると思います。ロータリーが青少年育成に注目し、奉仕と平和を創り出す次世代のリーダーを養成する為に、エネルギーと資金を投入することは意義のあることです。特に高校生の長期に渡る異文化体験、文化・国際交流プログラムは、地区、クラブのロータリアン、学校、ホストファミリー、日本語教師、地域住民を始め多くの協力者がこれに関わっています。また、このプログラムに参加した生徒は、人間の「善意」を経験し本気でそのために奉仕する大人の姿を目の当たりにして価値観のパラダイムシフトを経験するのではないかと思います。彼らの価値観や人格形成に大きな影響を及ぼすものと信じています。帰国後、残りの学業を終了し就職、指導力を発揮し、経営者・経営陣になってロータリーに入会し、世界の会員と共に、国家間の架け橋となり世界に向かって共に奉仕をすることが大事なのです。ロータリーの最終目的は



世界平和です。帰国した生徒の1年後の成長した姿を見ていると彼らに大きな希望を見出すことができ、まさにそのために当委員会が有り、クラブ、学校、ホストファミリー皆様を始め多くの方々に、彼らを立派に育て上げることこそ奉仕の最大の喜びであると感じます。今年、規定審議会において、青少年奉仕が第5の奉仕に決定しました。青少年プログラムは、インターアクト、ローターアクト、ライラ、青少年交換です。まさに青少年奉仕そのものです。2009年7月には、カナダ、フィンランドの2名の送別会と、6名の派遣学生の壮行会を行いました。残念なことに2010年3月に1名の早期帰国者が発生しました。今後の防止策を派遣オリエンテーションに盛り込みました。2009年8月には、アメリカ、カナダ、フィンランドの4名の受入、歓迎会を実施。9月には、受入と派遣候補学生他で、ニセコ秋期キャンプ、10月には地区大会に受入・派遣候補学生全員登録、12月にはオーストラリアの受入学生送別会、2010年1月には、オーストラリアの受入学生歓迎会、2月にはインター・ナショナル・ナイトに受入学生(7名)、派遣候補学生(7名)ロータリアン、他の27名の参加、3月にはニセコ春季キャンプ、又、この一年間で委員会開催が16回、受入オリエンテーション2回、カウンセラーオリエンテーション危機管理2回、派遣オリエンテーション8回の実施、次年度は受入、派遣それぞれ7名となります。新年度も皆様のご協力とご支援を頂き、青少年交換プログラムをより素晴らしいものになるように努力して行きたいと思っております。

効果的な活動を構築

地区インターアクト委員会

委員長 若松 孝
(札幌モーニングRC)

1年を振り返ってみて、精一杯やったつもりですが、今イチうまくいかないことばかりだったという印象です。さぞ地区の皆さまにご心配、ご不安を与えたことと思います。その一番は、皆さまにインターアクトのさまざまな活動をなかなか知っていただけていないこと。「インターアクトの活動はよく知らないなあ」と今思われた会員の方、それはこの私の力不足でございます。今後、委員長在任中には、多くのみなさまに「インターアクトってなかなか良い活動している」と言ってもらえるよう頑張ります。次に気になっていることは、提唱クラブの経済的ご負担が大きいこと。海外研修旅行、地区大会への登録、そしてインターアクトの年次大会の運営、参加にしてもお金がかかります。インターアクトクラブが活発になり、人数が増えれば増えるほど負担も大きくなります。言い訳になりますが、提唱クラブへ、これ以上、ご負担を強いるような策はとれないことから地区としても活動が小粒にならざるを得ない。なんとか在任中に経済的負担が少なく、しかし知恵を絞り効果的な活動を構築したいと考えています。

最後になりますが、それぞれの提唱クラブのもと各インターアクトクラブは毎年毎年素晴らしい活動を積み上げており、地域社会にとりましてなくてはならない存在となっております。その活動報告はブログで行っております。一度ぜひご覧になってみてください。 <http://ameblo.jp/2510interact/>
1年間、ありがとうございました。



最後のローターアクト地区委員長うまくできたかな？

地区ローターアクト委員会

委員長 柳 孝 一

(札幌南RC)

通算5年目のローターアクト地区委員長が無事終わったことを確信できずにこの原稿を書いています。それが実感できるのは、もう少し時間がかかりそうです。2009-2010年度は地区内にローターアクトプログラムを広報する事を念頭に活動しました。主にガバナー月信とホームページを活用いたしました。ガバナー月信は担当の中島地区幹事のご協力により、私が忘れた4月号を除き毎号、活動を掲載お願いしました。ここで一年間の活動を紹介いたします。安藤由香里地区代表(札幌南RAC)の発案で、一年間を通し、地区全体で最終的にはポリオのワクチンになる、ペットボトルのキャップを集める「エコキャップ活動」行いました。(月信の2月号に掲載しました)6月の段階で約29万個収集しました。

7月の提唱クラブ委員長会議にはじまり、地区キャンプ

9月稚内→赤平 交通安全自転車リレー

10月地区協議会(赤平市)

11月北海道ローターアクト交流会(千歳市)

1月温泉交流会、海外研修(タイ・チェンマイ)

3月全国ローターアクト研修会(愛知県・名古屋市)

5月2500地区の地区大会の参加(稚内市)

6月26日地区大会(札幌市)以上が主だった行事です。他に地区委員長として真駒内RCと赤平RCの例会で卓話をいたしました。RIがローターアクトを説明している文章で終わります。「ローターアクトは、18歳から30歳までの青年男女のための、ロータリーが提唱する奉仕クラブです。ローターアクトクラブは通常、地域社会または大学を基盤としており、地元のロータリークラブが提唱しています。ローターアクトクラブは、提唱ロータリークラブの真の「奉仕のパートナー」であり、ロータリー家族の重要な一員です。」

※現在岩見沢RAC、函館大学RAC、札幌南RAC、赤平RAC、室蘭北RAC、千歳RACの6クラブ約65名のローターアクターが活動しています。

ロータリー財団にご協力を

地区ロータリー財団委員会

委員長 岩 城 秀 晴

(札幌南RC・PG)

2009-2010年度の財団委員会として、その実績を振り返ってみますと、非常に景気の低迷する中を、私どもロータリアンは、ロータリーの理念であります世の善行を行うことをその目標としております故か、財団への御寄附を戴いておりますことは、心より感謝を申し上げます。

11月号の財団月間に「財団を考えてみよう」と題し、1月号には「財団地域セミナーに参加して」をガバナー月信に記載致しました。

11月には22名の方がポール・ハリス・フェローになりました。また一方、各クラブから卓話の要請が5クラブと第6グループの4クラブからも見延ガバナー補佐からの特別な企画により実施致しました。

通常は30分程度ですが、第6グループでは1時間30分の質疑も含めて実施いたしました。特に財団の資金運用による損失の質問がありましたので、誠意をもってお答え致し、より深く財団の理解が得



られたと思いました。

プログラムについては、GSEの2360地区と当地区との交流もあり、その交流に至る派遣団員の指導、育成を行った奥貫氏へは深く感謝を申し上げます。

私は、今度、佐々木、熊澤、細川年度をこの委員長の任にあたることとなりますので、健康に留意して、皆様方に財団への御協力の推進役に就きますので、よろしく御指導賜りますことをお願いしまして御報告と致します。

国際親善奨学金の今後について

地区国際親善奨学金委員会

委員長 菅原 秀二
(札幌大通公園RC)

7月3日(土)の壮行会で、2010-11年度の奨学生5名(実際には6名ですが、1名はすでにインドに留学中)を送り出して、3年間の委員長の任期が終了しました。この間、お世話になったガバナーを始めとする地区執行部の皆様、当委員会の委員の皆様にご感謝いたします。この3年間、大きな事故もなく、留学生を送ることができたのも皆様のご支援があったからこそであります。また、留学生の候補者を送ってくださったクラブにも感謝申し上げます。選考の結果として、失礼や不手際がありましたら、この場をお借りしてお詫び申し上げます。さて、この伝統のある国際親善奨学金ですが、新補助金の実施に伴って廃止され、地区で新たな奨学金制度を構築していくことが期待されています。その際、感じることは、現在のような1学年度だけの募集では上手くいかないのではないかということです。実は、2011-12年度の奨学生を募集したところ5名の応募しかなく、そのうちの4名を合格させたものの、1名が都合で辞退し、3名の奨学生しか確保できないことになりました。しかも、その3名がすべて道外の方でした。これは1学年度の奨学生は大学院に進学を希望しているという理由が大きいと考えます。従来の語学研修を中心とする文化研修のプログラムは、3ヵ月、6ヵ月の期間であり、年齢や職業など実に多様な方が応募して下さいました。それが1学年度だけになりますと大学院での研究の話題が中心となってしまう、選考するほうも専門的な知識がない分野もあり大変でした。奨学金の意義は人材の養成にあると思いますが、大学院への留学者は帰国してから、当地区に残るとは限らず、日本全国のどこかの大学等に就職の機会を求めます。したがって、当地区で活躍される方はどうしても少なくなってしまう。しかし、当地区の寄付金から、この奨学金が出ていることもまた事実です。やはり、帰国後は当地区で活躍して欲しいし当地区のロータリアンになって欲しいというのもまた当然の意見だと思います。これから新補助金のもとで、新しい奨学金制度を創設する際には、このようなことを是非念頭において頂きたいと思います。これから、過渡期を迎える奨学金の新委員会にも変わらずのご支援をいただきたいし、どうぞ奨学金のあり方をめぐってご意見をお寄せいただければと思います。



GSEプログラムを終えて

地区GSE委員会

委員長 沼 舘 栞

(札幌清田RC)

今期GSE委員会の事業はRI第2360地区との派遣交換プログラムでした。当地区として初めての試みであります重点的GSE(特定の業種に絞った団員の構成)ということで、昨今の社会事情を鑑み、特に高齢者及び障害者に対する介護・支援業務に携わる職業に就いている方々を対象としました。社会福祉・介護の分野に絞った重点的GSEということで、福祉の先進国であるスウェーデンの第二の都市イエテボリを中心としたRI第2360地区から快諾を受け交換事業が始まりました。チームリーダーの都合が合わず、急遽、真駒内RCの丸山淳士PGにお引き受け頂き、丸山リーダーと4名の派遣団員は、4月30日にスウェーデンへ出発しました。4週間の研修を終え帰国した派遣団員は国際人として一回りも二回りも大きくなり、2360地区での歓待の様々や、今後のGSE活動に役立つ意見を数々聞くことができ派遣の成果を頼もしく感じております。これからは今回のプログラムで得た経験を生かし、地域に貢献して頂けることを期待しております。またGSE委員会にとって今回のヨーロッパは初めての交換でありました。

受入れした2360地区からのチームメンバー4人は、優秀でもあり素晴らしい方々でした。当地区内のロータリアンの皆様とすぐにうちとけ、何処へ行っても和気藹々の雰囲気や常を保っていました。地区内の評判も良く行く先々のクラブで大歓迎を受け、親交を深められたことは、国際親善においても地区と地区との相互理解の上でも大変効果的であったと思います。カトリン・アンダーソン・チームリーダーをはじめメンバーの方々の素晴らしいスピーチ、プレゼンテーション、またいつも規律正しい振る舞いなどはこれからのGSEプログラムを考える上にも大いに参考にさせて頂きたいと思えます。素晴らしい派遣交換をすることができるのも、地区の皆様のご協力、ご支援があればこそで、ガバナ、地区関係者の皆様、受入グループのガバナー補佐の皆様、併せて受け入れコーディネーターの皆様等には多大なるお力添えを頂きまして、心より御礼申し上げます。どうぞ今後ともGSEプログラムにご理解とご協力をお願い申し上げます。

アッと言う間のこの一年

地区財団学友委員会

委員長 齋 藤 博 司

(千歳セントラルRC)

2009年6月までは委員長見習いで、高橋前委員長(清田RC)にあれやこれやと引きずり回され?? 右も左も分からずじまいでした。そのうちに、ガバナー事務所へたくさんの書類を提出。財団委員会、他委員会、セミナー、地区大会への出席、当委員会の事業活動への参加と休む間が無かった様に思います。その間に財団学友帰国報告会の開催というメインテーマがあり、これに伴う会議。当委員会と財団学友会主催による学友帰国報告会が、本年度も押し迫った10年6月12日に無事に終了したことが第一の成果でした。反省としては多々ありますが、ロータリアン32名、学友関係者26名の58名による会ではありましたが、時間が足りなく皆様にご心配をお掛けしました。それでも、熱心に帰国報告を見、聞き入っておられ、更に成長して帰国した青年達に惜しめない拍手を送っておられ感銘を覚えました。地区大会でのブース設置について、財団学友会と検討を重ね、前日より滝川に泊まり込みで準備をいたしました。財団親善奨学生の壮行会、GSEスウェーデン派遣団員の壮行会とスウェーデンチームの送別会、みんな不安の中にも目は輝いていました。卓話の依頼があれば、学友の軽いフットワークで、



どのクラブにも出かけました。さらに学友会を知ってもらう為にどのような啓蒙をしていくかが今後の課題です。2001年5月に産声をあげた財団学友会は2011年～12年度に設立10周年を迎えます。この10周年に向け、次年度から実行委員会を立ち上げます。クラブへの啓蒙、地区大会での宣伝、ことある毎に10周年にむけて発信したいと思います。会員の皆様、ご支援、補助をお願い申し上げます。ありがとうございました。感謝！！

補助金委員長2年目を終えて

地区補助金委員会

委員長 須田 義雄
(札幌南RC)

3年前の秋、次期補助金委員長(3年間)の要請があり、ガバナー、ロータリー財団委員長、補助金委員長出席のもと、それまでの経過について説明を受けました。その多くは、文化的行事で、音楽祭、少年野球・サッカー大会、各種施設の記念事業への協賛、クラブ創立記念事業に対する物品の寄贈、学童のお祭り協賛と植樹事業など、いずれも地域住民(特に少年、少女育成)に密着したもので、中でもスポーツ大会は子供たちが毎年楽しみにしていたものでありました。私が就任した2008～2009年度は、補助金の内容について、スポーツ大会に出す補助金は会場使用料のみに限定され、バス代、食事代、審判に対する報酬は不可となりました。2009年7月に作られたロータリー財団地域セミナーハンドブック(50～56ページ)では補助金の内容が明確に記載され、スポーツ大会の主催、子供の善行の表彰、慰問用楽器の寄贈、書道展、絵画展開催と表彰、コンサート、各種講演会開催などの文化的活動が不適格となりました。RI日本事務局からは適切なプロジェクトとは、「補助金は人道的補助金プログラムの1つであり、全てのプロジェクトは人道的支援(健康、飢餓、貧困等)に直接的に取り組むものであり、困窮している地域社会、グループ、低所得者層、ハンディキャップを持つ方々、老人などに恩恵があるものでなければならない」との指導がありました。受給基準は基本的にマッチング・グラントと同じで、違うのは地区補助金においては地域美化、環境に関するプロジェクトが認められていることです。補助金制度について一番驚いたことは、毎年申請するクラブ以外はほとんど知らないというのが大半で、最初の一年は事あるごとに、PRをして参りました。次第に関心をもっていただく様になり、2009-2010年度はそれまで73クラブ中10クラブにも満たなかったのが20クラブの応募を頂き、文化的活動が認められないために14件の審査となり、最終的に12クラブの承認で終わりました。人道的プログラムに限定となったため100万円以上の予算はなく、10～40万円以内にとどまったのも今年度の特徴でした。申込みが増えたにも関わらず、予算を使い切ることが出来ず返却することになり残念に思います。残された最後の任期をどうやって有効に役立たせることが出来るのか、皆さんの意見も伺いながら進めていきたいと思えます。新年度の地区目標の一つは、地域ニーズをふまえて、地域密着の奉仕活動を実践しようです。補助金を有効に活用して頂くべく、各クラブからの申請を宜しく願致します。



ご挨拶

地区補助金監督委員会

委員長 中山裕視
(札幌真駒内RC)

補助金監督委員会は補助金委員会と一緒に開催されます。補助金の支出が公平且つ適正であるという監督的立場に立って審査をします。09～10年度も多くの補助金申請がありました。

委員会の開催は3回行いました。委員会では全員が十分な検討、話し合いをして慎重に審査して最終承認をしました。近年は補助金申請内容が文化的活動は認められなくなり、人道的なプロジェクトに限られておりますが、地域社会に役に立つ奉仕活動の活性化のために来期も多くの申請があることを期待しております。1年間、ありがとうございました。

地区米山記念奨学委員長を終えて

地区米山記念奨学委員会

委員長 黒澤勝昭
(札幌南RC)

2008年度の地区大会の米山奨学会の展示ブースでの出来事でした。当時の大石委員長から、次年度委員長に予定していた人が急に退会することになったので、何とか引き受けてほしいという要請でした。ロータリークラブでの在籍も浅く、地区でも、まだ委員になって1年も経っていないので、一度は断ったのですが懇願されて引き受けることになりました。幸いなことに2006、2007年度2年間にわたって米山奨学生のカウンセラーを委嘱され、米山記念奨学委員会とは関わりがありましたので、それなりに理解はしていたのですが、実際に委員長の業務を遂行しているうちに大変な仕事であることを痛感させられました。12月に全国34地区のガバナーエレクトと次年度米山奨学委員長の合同セミナーが本部(東京)で開催されます。このセミナーに出席して米山奨学事業についてひととおり学ぶわけですが、2510地区の状況は他の地区に比べると、寄附金事業、奨学生の活動等において学ぶべきところがたくさんあり、今後の課題として残っています。特に、寄附金事業については全国平均(14,475円)を大きく下回り、一人当たりの寄附金は2010年6月末現在10,959円で全国34地区中第25位となっています。当地区の目標金額は普通寄附4,000円、特別寄附12,000円ですが、目標額に対して達成率68.49%という状況です。総額も会員数の減少により減額(2000年度⇒3,749人⇒41,477,321円、2009年度⇒2,825人⇒30,104,709円)しています。会員の皆さまには目標額達成に向けてご協力をお願いいたします。

米山記念奨学生の割り当て数は、前年度の地区の寄附金総額に対して決まります。2011年度の割り当て数は17人です。年々縮小の傾向にありますが、2010年度とは同数です。この受け入れ奨学生を17の世話クラブ、17人のカウンセラーにお願いするわけですが、大学の所在地との関係により特定のクラブに偏る傾向にあります。世話クラブ以外のクラブにできるだけ奨学生を派遣して米山奨学事業について、ご理解とご協力をいただこうと思っておりますので、次年度も引き続きよろしく願いいたします。



1 年を振り返って

地区米山学友委員会

委員長 大石 春雄
(札幌はまなすRC)

昨年の6月、地区米山記念奨学委員長の重責を終えほっとしたのもつかの間、地区代表幹事の神部氏からの要請により、米山学友委員長を引き受ける事になりましたが、早いもので1年が過ぎようとしております。

米山学友委員会は、米山学友会(北海道)のサポートの為に作られた委員会であり、委員長は私で4代目です。私の1年目の目標は、北海道に住んでいる学友約100名の皆様との連絡でした。メール、FAX、電話等を駆使し、連絡が取れた学友は約40人。

今後の課題は、世話クラブ、カウンセラーの皆様をお願いして連絡を取ろうと思っております。6月12日土曜日に、学友委員の谷川淑郎委員(余市RC)のご努力により、『いちご狩り&家族交流会』を余市で開催することが出来ました。余市RCからは、川向基紀会長、吉原伸幹事、クラブ委員長15名の参加をして頂き、マジックショウやカラオケで大変な盛り上がりで終わることが出来ました。余市RCの皆様には大変感謝しております。学友会の行事に初めて参加して下さった孔麗(コリ)さんは、「楽しい一時を有り難うございました。これからも参加したい」と言っておりました。一歩一歩ではありますが学友会の充実に貢献したいとの思いが募る1年でありました。新米委員長を支えて下さいました米山学友委員の皆様にご心より感謝申し上げます。



ロータリーの友地区委員を終えて

ロータリーの友委員会

地区委員 中島 健
(滝川IRC)

ロータリーの友・地区委員は、ガバナーの代理者として、1)ロータリーの友委員会の活動へ、建設的な提言を行う。2)地区内ロータリアンに対して、「ロータリーの友」誌、ホームページの「ロータリージャパン」、およびその他の刊行物についての有効な活用を促す。これが、やるべきおおよその役目です。

年度当初、地区内クラブの会報・週報委員長宛にロータリーの活動の活性化につなげたいと考え、次の封書をお送りしました。

『「友」誌にはたくさんの重要なロータリーの情報が載っています。クラブでは当たり前の活動が他のクラブではとても珍しかったり、またクラブでは他のクラブでの有効な手段を知らず効果の薄い活動になっているということはよくあることです。「友」誌をクラブの活動、事業の参考に活用して下さい。「友」誌を会員に配布する際、「さわり」で結構ですので内容の案内をして下さい。また、クラブの事業について、友委員会や地区に情報として投稿をお願いいたします。投稿については、間をおかず、新鮮なうちに送って下さい。大変重要なことですが、週報の発行、またホームページの立ち上げには、著作権などの知的所有権に気を付けて下さい。「友」誌の記事、徽章、RIのウェブサイトの写真等を利用する場合は特に注意が必要です。また「ロータリージャパン」には「友」誌に掲載しきれない程の沢山の情報や資料が詰まっていますし、会員以外の人たちにロータリーの活動を広く知ってもらう為の広報の要素も含まれています。「友」誌と「ロータリージャパン」をPRするとともに貴クラブのホームページにリンクして、会員並びに一般の人々がアクセスしやすいようにして下さい。「友」誌や「ロータリージャパン」は貴クラブの活動を更に活発にさせる起爆剤となることを確信しております。』

モンリオール世界大会出席報告

地区オン・ツー・モンリオール委員会

委員長 酒井 正人

Masato Sakai
(函館五稜郭RC・PG)

6月20日からカナダ・モンリオールで開催される国際大会に参加するため第2510地区ではこれにあわせてモンリオールへ直行するAグループとカナダ観光をかねたBグループの二通りのコースで参加者を募りました。両コース合わせて19名の参加申し込みがあり、5月19日札幌グランドホテルにて結団式を行い6月15日から2グループに分かれて目的地モンリオールへ出発しました。

Bグループは佐々木GE、熊沢GN、丸山PGを含む総勢14名でしたがバンクーバーからカナダに入国しカルガリー、バンフを経由してモンリオールに入りました。特に世界遺産でもあるカナディアンロッキーの大自然は北海道の景色になれている我々にとっても筆舌し難いもので、クロウフット氷河の雄大な山々やカナディアンロッキーの宝石に例えられるレイク・ルーズは感動をおぼえるものでした。

佐々木GEは地区内の各クラブからの信任状をあずかっており、国際大会会場へ届けるという大任があります。「西遊記」に三蔵法師が孫悟空、猪八戒、沙悟浄を供に従え、幾多の苦難を乗り越え天竺へ取経を目指す物語がありますが、これに例えてみますと信任状を届ける旅は高さ80mの吊り橋で谷を渡り、山を越え、グリスビー(熊)にも遭遇し、氷河を歩き天竺ならぬモンリオールへの約1万キロメートルの旅になりました。(差し障りが有るとまずいので、誰が三蔵法師で、誰が孫悟空、猪八戒、沙悟浄であるかはここでは記載しないことにします)大会参加登録を済ませ信任状受付ブースへ行くとそこには当地区の岩城秀晴PGがブース内で執務をしているではありませんか。プログラムを開いて確認すると信任状委員会7名の中に日本人としてただ一人、札幌南RC岩城秀晴PGと記載されておりました。多分地区内の何方もこのことは事前に承知していなかったと思われます。驚くと同時にお釈迦様に逆らった孫悟空が遠くの山へ筋斗雲で出かけ悪戯書きをして戻ったらそれはお釈迦様の指であったと言う話を思い出してしまいました。

モンリオール市内は例年の開催都市と比べ歓迎ムードは控えめのように映りました。友愛の広場や分科会は国際会議場で国際研究会やローターアクト関連はそれぞれ別会場で、開会式と閉会式はBellアリーナーと分散しているためか盛り上がりにくい環境に思えました。開会式・本会議は20日午後1時30分と夕方6時30分の2回に分けて行われそれぞれ1万5千名強が参加したようです。日本人の登録は1800名程のようです。

20日夜、A、Bコース参加者とコース外で個別に大会に参加された地区内会員、家族がル・センター・シェラトン・モンリオールホテルに集まり、渡邊恭久Gの挨拶と乾杯で恒例の北海道ナイトを開催しました。参加クラブは滝川RC、札幌RC、小樽RC、札幌南RC、札幌真駒内RC、札幌東RC、札幌北RC、札幌西RC、札幌手稲RC、美唄RC、函館五稜郭RC。2011年は5月21日から25日までニューオリンズで開催される予定ですので皆様のご参加をお願い致します。





GSE・スウェーデンでの記録

GSE派遣チームリーダー

丸山 淳士

Jyunji Maruyama
(札幌真駒内RC・PG)

4月29日にスウェーデンチームの送別会と私たちの壮行会が盛大に開催され、翌日、新千歳まで地区GSE委員の見送りをいただきプログラムが開始されました。成田に一泊し、コペンハーゲン経由でスウェーデンの第2の都市、ヨーテボリに到着したのは現地時間の午後10時過ぎでした。空港に3名の現地GSE委員の方々が出迎えに来ていただきホテルに直行しました。時差ぼけ解消の2日間はあるという間に終わり、最初のプログラム、ポールベリーへと移動しました。到着後、落ち着くまもなくポールベリーロータリークラブ例会にて最初のプレゼンテーションをしました。緊張の中、順調にプレゼンテーションを終え、市内を観光してそれぞれのホストの家庭へと向かいました。翌日から各自、分散してそれぞれの実地学習が始まりました。日本では連休ですがこちらは平日です。どの施設に行ってもゆったりと時間が流れていて、人はほとんどいません。日本のようにどの施設も満杯で人手が足りなく走り回っているような事態には一度も遭遇しませんでした。

家庭では7時から朝食と言っても7時までは人の動く気配はありません。7時にご主人が台所に来て朝食の準備です。どの家庭もほとんどご婦人が朝食の用意はしません。寝ていて起きてこない家庭がほとんどです。起きてきても自分の朝食を作るだけで客やご主人の用意はしません。朝食はどの家庭もだいたい同じで、紙パックのヨーグルトを深めの皿にカップに一杯くらいかそれ以上の量を入れ、そこに果物の缶詰やシリアルを入れるだけです。1分で朝食の準備は完了です。パンは5ミリくらいに薄く切ってチーズやバター、ジャムを大量に塗り黙々と食べます。野菜はほとんど出ません。ミニトマト3個、ピーマン、キュウリそれぞれ1個くらいで4人分の朝食になります。どの家庭にもチューブに入ったたら子のマヨネーズソースの様なものが必ずあって、それをパンや堅めのせんべいのようなパンに塗って食べます。昼食もだいたいバイキング方式で大皿から好きな物を取って好きな飲み物で済ませます。夜のごちそうはスープか肉またはソーセージの煮込みが最大の料理です。毎日毎食必ずジャガイモのゆでた物とシャケがでます。食事の後片付けは主として男性がします。女性は自分の物しか片付けません。日常生活でも女性は外で働いており家事はほとんど男性がしています。庭の手入れも男性の仕事で、別に苦にしていないようです。…スウェーデンに生まれなくて良かった！5日には次のボロースへ移動です。ここは、スウェーデンからのチームリーダー、カトリン・アンダーションのホームグラウンドです。6日にボロース・エストラRCの例会に出席。プレゼンテーション後、それぞれの実地学習です。翌日7日午前8時からのモーニングクラブ、ボロース・ビスカンRC例会に出席。プレゼンテーション後、ボロースの市内見学。ここは織物の町で、織物博物館などを見学しました。8日と9日の土日は週末休みなのでゆっくりできるかと思ったら、ぎっしりとお楽しみプログラムが組まれており、日曜日にはリンネ・マルシェンという遠足に参加、男性は14キロ、女性は9キロの山歩きです。膝はがくがく、足の筋肉はひきつり彼ら

の一步は私たちの3歩、いくらゆっくり歩いてくれても追いつきません。

10日にはアリンソースに移動、例会に出席しプレゼンテーション。12日にはアリンソースの病院にてロボット手術やそれぞれの分野の実習を終日こなし、13、14日とトロハッタンに移動しての中間休暇です。というのも5月13日はキリストの生誕日とかでスウェーデンは休日なのです。2日のホテル生活の間に不要のものなどを日本に郵送。少し荷物を軽くしました。15日にベネルスポークのホストの家へそれぞれ移動。トロハッタン、ボルボの工場などの見学とそれぞれの実習です。19日、それまでの田舎周りから解放され、最初の到着地ヨーテポリです。ここは6日間のホストファミリーとの生活です。しかし…みんな苦戦!!! やっぱり都会人! ?どのホストファミリーも一癖ならぬ百癖の持ち主揃い!! リーダーの私はホストのサマーハウスで再び田舎の山奥に逆送です。ほかの団員も地下室で居候と共同生活や、様々の逆境に忍耐の日々でした。

折角のコンサート鑑賞も現代作曲家のバイオリン協奏曲と交響曲でさっぱり溶け込めず、ひとときの休養とばかり夢の世界の隊員もいました。25日ヨーテポリ近郊のメレンダルに移動して最後のプログラムです。このホストは皆さん常識家で家の中もきれいで最後にふさわしいホストとの出会いとなりました。27日、フェアウェイパーティーをしていただき、ガバナー、GSE委員長、スウェーデンからの団員のうちカタリーナ、サラ、カミラの3名とホストのファミリーが集まってくれました。我がチームはお礼に挨拶と思い出のスライドを映写、余興でソーラン節を演技、最後は三本締めで皆さんの拍手喝采を受けました。…みんなよく頑張りました。翌日、最終日は7時に始まるモーニングクラブでの最後のプレゼンテーションから始まり、終了後それぞれの学習と、昼食後は全員で私のホストの会社、アストラ・ゼネカを訪問しすべてのプログラムを終了しました。

最後の難関は空港での重量オーバーの対応です…。無事にお目にかかれまして場合はこの最後の難関を無事に突破した印と 부탁드립니다。この度の準備に尽力をいただいた委員の皆様を始め、スポンサークラブの皆様、地区の関係の皆様にご心より感謝を申し上げます。隊員はこの派遣を通して大きなかけがいのない経験を受けました。我が地区にとっても素晴らしい成果となって還元されることを願っています。





ローターアクト第37回地区大会

ローターアクト

地区代表 **安藤 由香里**

Yukari Andou
(札幌南RAC)

2010年6月26日土曜日に札幌市にてローターアクト第37回地区大会が札幌南RACのホストで開催されました。お忙しい中、多くの皆様にご登録、ご出席いただき感謝しております。不手際等があり申し訳ございませんでしたが、反省を生かし今後にかかしていきたいと思います。ローターアクトの地区大会では、一年間頑張ったクラブや会員の表彰式や30歳を迎えた会員の卒業式を行いました。主力メンバーが卒業していき、残ったメンバーでこれからもっと頑張っていけないと改めて実感いたしました。

そして、ローターアクトについて柳地区RA委員長の基調講演をいただき、改めて考えるきっかけになったのではないのでしょうか。また地区の事業のエコキャップ活動(ペットボトルのキャップを集めて、ワクチンに変え世界の子供たちにポリオワクチンを届ける)を行ってきましたのでその報告も致しました。一年間で集めた数は287,200個でした。ポリオワクチンに換算すると359人分になります。ロータリークラブの皆様方に重ねてお礼申し上げます。新年度より継続事業となりますのでよろしくお願い致します。

私事ですが、一年間お世話になりました。ロータリアンの皆様方には、ご協力、ご尽力賜りまして誠にありがとうございました。地区代表をさせていただき、この経験を生かしローターアクトのメンバーとともにまた活動に励んでいきますので今後ともご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。



RI第2500地区 ローターアクト地区大会に参加して

地区ローターアクト委員会

委員 蝦名大典

Daisuke Ebina
(札幌南RC)

5月15日～16日、稚内で開催されましたRI第2500地区のローターアクト地区大会に2510地区のローターアクター(RA)18名と共に参加してきました。

ローターアクトの地区大会は毎年5月～6月に行なわれることが多く2500地区もこの時期に開催されました。ローターアクトの地区大会ではその年度の各クラブ又は個人の功労に対する表彰が行なわれます。その他30歳という年齢で卒業迎えるため年度末の地区大会で卒業式を行なうのも特徴です。この地区大会でも今期の卒業生を送り出し、1年間の活動報告が発表されました。他は親睦の為にプログラムが用意されておりました。2日間の短時間でしたので、少々タイトな日程ではありましたが当地区でも見習うべき点が多くあったと感心しております。

参加者名

千歳RAC: 齋藤麻紀・滝澤祐子・仲山未来・須藤彩乃・西村英晃

赤平RAC: 関戸祥子・工藤睦美・立川真由美・高橋めぐみ・斉藤鮎美・伊藤明和

札幌南RAC: 安藤由香里・三田宏和・相馬孝江・中川翼・奥村昌代・佐藤友理・川下和光

地区ローターアクト委員: 蝦名大典(札幌南RC)・赤山登(岩見沢RC)





2009-2010年度 インターアクト年次大会報告

地区インターアクト委員会

委員長 **若松 孝**

Takashi Wakamatsu
(札幌モーニングRC)

2010年6月19日(土)20日(日)の二日間にわたり、室蘭にてインターアクト年次大会が開催されました。参加校は第2510地区全てのインターアクトクラブ9校。参加高校生98名と顧問の先生が参加されました。この年次大会は主管が各提唱クラブの持ち回りで開催され、地区委員長は行って挨拶するだけと言っても過言ではありません。今回の主管は室蘭東RC。会場に講師をお招きしてお話を聴くといった大会ではなく、主会場の室蘭市市民会館で行われたのは開会式と閉会式そして食事のみ。あとは、工場見学、夜景見学にボルタ作り。実に高校生を飽きさせない内容。しかもただ楽しいだけでなく、その中に室蘭の誇る「ものづくり」を感じてもらおうという仕掛けです。本当に素晴らしい大会でした。板東会長はじめ、室蘭東RCのメンバーの皆さまのインターアクトに対する思いを感じる充実した大会であったことをここにご報告いたします。



IM 報告



第2グループのIMを無事終了して

第2510地区 第2グループ

ガバナー補佐 **北谷好文**

Yoshifumi Kitaya
(砂川IRC)

RI第2510地区第2グループのIMを5月22日(土)午後2時30分から砂川市地域交流センター「ゆう」において開催いたしました。

当日は五月の爽やかな微風の心地よい日和でした。来賓として渡邊恭久ガバナー、佐々木正丞ガバナーエレクト、神部洋史代表幹事、さらに第1グループの田中公一、第3グループの嵯峨義輝、第4グループの荒紀男、第5グループの江口洸、第6グループの見延庄三郎各ガバナー補佐、地区世界社会奉仕(WCS)出村知佳子委員長と次期第2グループ渡部芳己ガバナー補佐のご臨席をいただき開催いたしました。

第2グループの参加クラブは登録数としては赤平RC25名、芦別RC30名、滝川IRC90名、砂川IRC53名の198名で重複分を省いた実質登録者数は205名です。始めに次期第2グループの渡部ガバナー補佐のご紹介と次年度4クラブの会長、幹事の紹介、続いて前年度ガバナー補佐を務められた神部洋史現地区代表幹事に記念品の贈呈をしました。

第2グループのIMは4クラブの持ち回りでおこなっておりますが、芦別は50周年、滝川も50周年、砂川は40周年、次年度の赤平も50周年記念式典とIMと周年行事が4年連続して続いており、同日開催となっております。

今回のIMのテーマは、「環境・人・子どもに目を向けよう…水」です。このことはジョン・ケニーRI会長の優先項目の一つで「水、保健と飢餓救済、識字率の向上」の奉仕を呼びかけておりますし、渡邊ガバナーも基本方針の中に「環境、人、子ども」に焦点を合わせております。また砂川IRCもWCS委員会の事業に参加させていただいており「水」に関心を持っておりましたので、地区WCS出村委員長に上記のテーマでスクリーンを併用して講演を頂きました。その後、4クラブの会長に、3分ほどの短い時間ではありましたが、ロータリーの奉仕に関するお話をしていただき、最後に渡邊ガバナーに講評をいただきIMを終了しました。

当日は砂川IRCの40周年記念式典と同日開催でしたので、砂川IRCは全員参加のIM、40周年式典となり全員が役割分担した結果、今年度5回目の100パーセント例会を達成することもできました。





I M 報告

IMを終えて

第2510地区 第7グループ

ガバナー補佐 **加藤 寛治**Kanji Katou
(北広島RC)

5月29日(土)札幌北広島クラッセホテルにおいて、第7グループIMを神部地区代表幹事、佐藤パストガバナーにご臨席頂き、北広島RCがホストクラブとして開催致しました。

朝から晴天に恵まれ、午前9時より6クラブ合同ゴルフコンペを行い、その後午後4時30分よりIMを開催しました。

IMのテーマ「CLPの取り組みについて」ということで、各クラブより今後のCLPの取り組みについて発表して頂きました。

今年度のIMは、昨年度6月の新旧会長・幹事会において、CLPの取り組みについて各クラブの考え方をお聞きしたいと思い1年前よりテーマを設定し、各クラブに内諾頂いておりました。

第7グループは3クラブが20名以下であり、今後のクラブ運営を考えるとCLPを取り入れざる得なく、また他のクラブも同様に会員の高齢化による会員数の減少等問題点を多く抱えていると思います。そのような状況下で今回CLPを取り入れ実際にクラブ運営にいかされているクラブは少ないようですが、これを機に長期を視野に入れ、クラブに合った委員会組織を再編し、地域に合った奉仕活動を実践し、クラブの独自色を見いだして頂ければクラブの活性化に繋がると思います。そうすることによって若い会員の増強を計る事が出来ると思います。

より一層、第7グループの連携を図りながら、情報交換を多くしていく事も必要だと感じました。

IM終了後、交換留学生、米山奨学生を交え、6クラブの懇親会を開催し、交流を深め、有意義な一日でした。

尚、そらふちキッズキャンプの募金箱をゴルフ場、懇親会会場に設置し、合計62,483円の寄付を頂きました。皆様のご協力を深く感謝致します。



栗山RC・・・40周年の節目を祝う

栗山RC創立40周年記念事業

実行委員長 **栲澤忠彦**

栗山RC(松原正和会長、27人)では、平成22年6月12日、創立40周年記念式典を行いました。式典、祝賀会には、近隣のロータリークラブを含め150人が出席し、節目を祝いました。(姉妹提携都市、宮城県角田RCからも11名が参加)当クラブは昭和45年、岩見沢RCのスポンサーで、会員35人で創立、以来時代を見据えて地域に根ざした奉仕活動を展開してきました。

40周年記念事業として「栗山小学校校門の改修」「栗山警察署にプロジェクターとスクリーンの寄贈」を行いました。式典で松原会長は「未来を担う子どもたちを大切にする事業に取り組んでいる。美しい自然を子どもたちに残し伝える為の奉仕活動を続けていこう」と挨拶をしました。



新旧ガバナー補佐 新旧地区委員長 引継ぎ会議報告

6月6日(日) ホテルスエヒロ(滝川市)にて、新旧ガバナー補佐引継ぎ会議と新旧地区委員長引継ぎ会議が開催されました。

午前10時から新旧ガバナー補佐会議が行われ、今年度のガバナー補佐よりグループ毎の報告がなされ、次年度ガバナー補佐からは活動計画、行事予定、抱負などの発表がありました。

午後1時から、新旧の地区委員長が加わり、地区の今年度の活動報告、次年度の活動計画などが発表され、その後、懇親会をもって終了いたしました。





国際奉仕委員会ニュース

第20回日本ロータリー親睦ゴルフ(JGFR)北海道大会が2010年6月14日(月)「20周年記念大会」として小樽カントリー倶楽部にて全国のロータリアンとご家族、96名が参加され開催されました。好天に恵まれ楽しい一日を過ごされ、プレー終了後、懇親会(表彰式)が行われ、おおいに親睦を深めました。

★成績表★

	A 部門			B 部門		
	氏名	所属クラブ	NET	氏名	所属クラブ	NET
1位	梅田 鉄夫	新札幌	70.2	嶋田 修作	広島安芸	70.6
2位	石井 隆志	水戸	70.6	熊澤 隆樹	小樽	72.2
3位	谷口 智治	東京世田谷	71.6	渡邊 邦雄	大阪城南	73.8
4位	吉田 純一	福岡南	71.6	矢吹 賢一	総社	73.8
5位	三宅 弘	高松南	72.0	槍木 勝典	八街	75.0
BG賞	星野 昭雄	小樽	G77	三戸 道雄	福岡南	G86

	C 部門(女性)			ベストペアー賞		
	氏名	所属クラブ	NET	氏名	所属クラブ	NET
1位	諸川 華蓉	浜松南	73.8	大塚 哲夫、多恵子	豊田中	148.6
2位	大塚多恵子	豊田中	75.8	新井 清、博子	吹田西	151.6
3位	諸川 政子		76.8	諸川 雅一、華蓉	浜松南	152.0
BG賞	諸川 華蓉	浜松南	G93			

※表彰式にて札幌北RC(事務局)がニコニコBOXを実施89,794円が集まりました。有難うございました。

「チリ大地震災害義援金」報告

～皆様のご協力に感謝申し上げます。誠にありがとうございました～

ガバナー月信にて地区内各クラブに募金のお願いを致しました『チリ大地震災害』の義援金について、既に他団体に義援金をお振込みされたクラブもございましたが、下記の18クラブから総額653,985円を頂戴致し5月26日に日本事務局財団室にお振込みしましたのでご報告致します。

妹背牛RC、江別RC、札幌RC、札幌はまなすRC、札幌手稲RC、札幌清田RC、札幌南RC、札幌大通公園RC、新札幌RC、千歳セントラルRC、函館RC、函館亀田RC、七飯RC、函館セントラルRC、函館五稜郭RC、函館東RC、函館北RC、苫小牧北RC

「そらぷちキッズキャンプ」支援金の報告

地区代表幹事 神部 洋史

(滝川IRC)

各クラブへ支援のお願いをしておりました「そらぷちキッズキャンプ」の支援金の総額を報告いたします。

地区の口座に振り込まれた支援額 4,250,915円
 キャンプへ直接送金された支援額 2,508,938円
 支援金の総額 6,759,853円

お寄せ戴きました浄財は「そらぷちキッズキャンプ」へ寄贈致しますが、これらについては随時ガバナー月信でご報告させて頂きます。ご協力戴きました皆様に衷心より感謝を申し上げます。

なお地区を通して振り込みをして戴きました北門信用金庫の普通口座は7月9日に解約致しましたので、今後ご利用になれません。引き続きご支援される方は、直接「そらぷちキッズキャンプ」へお問い合わせ下さい。

公益財団法人 そらぷちキッズキャンプ
 ホームページ <http://www.solaputi.jp/>
 〒079-0461
 北海道滝川市江部乙町丸加高原4264-1
 公益財団法人そらぷちキッズキャンプ
 TEL:0125-75-3200 FAX:0125-75-3211
 E-mail:info@solaputi.jp

また、各クラブへは改めてお礼状を差し上げるつもりでございますので、今回は、ご報告のみとさせて頂きました。

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



若山徳次郎 名誉会員 (函館RC)
平成22年 5月14日逝去(享年93歳)

ロータリー歴
1949年 3月 9日 入会
1956～57年度 幹事
1984～85年度 会長
2001年 7月より 名誉会員

表彰関係
ポール・ハリス・フェロー



今村 重孝 会員 (札幌モーニングRC)
平成22年 6月22日逝去(享年74歳)

ロータリー歴
1993年 4月 28日 入会
1998～99年度 国際奉仕委員長
2002～03年度 社会奉仕委員長

表彰関係
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

新入会員の紹介 (敬称略)



あかし みつゆき
明石 光幸(余市RC)
★入会/H22.4.1
★職業分類/電気供給



つちや しょういち
土谷 彰一(余市RC)
★入会/H22.4.1
★職業分類/高齢者福祉事業



とも の みる
友野 稔(新札幌RC)
★入会/H22.5.12
★職業分類/自動車用品卸売



あべ まさと
阿部 雅人(苫小牧北RC)
★入会/H22.5.25
★職業分類/歯科医



はまもと すずむ
濱本 進(小樽南RC)
★入会/H22.6.4
★職業分類/包装資材販売



わたなべ あきひろ
渡邊 信(小樽南RC)
★入会/H22.6.4
★職業分類/仏教



テリー・ハマダ(小樽RC)
★入会/H22.6.8
★職業分類/ホテル



おかわら やすし
小川原 靖(羽幌RC)
★入会/H22.6.17
★職業分類/スナック経営



わだ まこと
和田 誠(羽幌RC)
★入会/H22.6.17
★職業分類/団体役員



ともひろ ひろゆき
友廣 久之(苫小牧北RC)
★入会/H22.6.22
★職業分類/酒精飲料販売



えびな おさむ
蝦名 修(羽幌RC)
★入会/H22.6.24
★職業分類/団体役員



ふじもり よしこ
藤森 善子(苫小牧東RC)
★入会/H22.6.24
★職業分類/建物サービス業



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

岩見沢 R C	武蔵 信一	会員(5回)	5月31日
小樽 R C	泉 侑	会員(1回)	5月26日
	佐藤 慶一	会員(1回)	5月26日
小樽南 R C	小笠原 俊介	会員(1回)	5月31日
	斎田 義孝	会員(2回)	5月31日
	佐藤 甚兵衛	会員(2回)	5月31日
	山吹 啓之	会員(1回)	5月31日
札幌東 R C	荒岡 幹史郎	会員(5回)	5月28日
	米谷 龍三	会員(5回)	5月28日
札幌西北 R C	中嶋 成実	会員(2回)	5月20日
由仁 R C	本間 好道	会員(1回)	5月21日
砂川 R C	佐藤 正一郎	会員(2回)	6月 7日
	高橋 俊美	会員(2回)	6月 7日
滝川 R C	竹田 行宏	会員(1回)	6月18日
江別西 R C	石黒 良平	会員(2回)	6月21日
札幌モーニング R C	中田 繁一	会員(1回)	6月21日
札幌手稲 R C	肘井 博行	会員(2回)	6月29日
札幌幌南 R C	羽部 大仁	会員(6回)	6月29日
	前田 恒雄	会員(1回)	6月29日
七飯 R C	菅原 昭	会員(1回)	6月21日
	上野 一義	会員(10回)	6月21日
函館五稜郭 R C	本間 哲	会員(2回)	6月18日
	福徳 勲	会員(5回)	6月18日
函館東 R C	宮崎 あけみ	会員(3回)	6月 1日
	矢島 千穂	会員(4回)	6月 1日

■米山功労クラブ

札幌東 R C	37回	5月28日
小樽南 R C	10回	5月31日
函館東 R C	22回	6月 1日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌西 R C	石丸 修太郎	会員(2回)	5月21日
室蘭東 R C	天谷 富雄	会員(1回)	5月21日
	神島 茂夫	会員(1回)	5月21日
苫小牧東 R C	高井 昌機	会員(1回)	5月14日
	綱木 保利	会員(1回)	5月14日
	松原 實	会員(1回)	5月14日
	水元 修治	会員(3回)	5月14日
	渡部 好治	会員(3回)	5月14日
	川村 義昭	会員(2回)	5月14日
	児玉 和雄	会員(1回)	5月14日
	佐藤 正	会員(1回)	5月14日
	佐藤 正孝	会員(1回)	5月14日
	菅野 嘉一	会員(1回)	5月14日
砂川 R C	佐藤 正一郎	会員(1回)	6月11日
江別 R C	松山 敏則	会員(1回)	6月25日
江別西 R C	後藤 一昭	会員(1回)	6月30日
栗山 R C	廣岡 秀博	会員(1回)	6月 4日
札幌モーニング R C	佐藤 亮蔵	会員(2回)	6月30日
札幌東 R C	荒岡 幹史郎	会員(4回)	6月25日
	志々見 陽一	会員(1回)	6月25日
苫小牧北 R C	山本 秀子	会員(2回)	6月30日

■ポール・ハリス・フェロー

函館五稜郭 R C	相馬 忍	会員	4月30日
室蘭東 R C	上田 康郎	会員	5月21日
	高島 宏	会員	5月21日
北斗 R C	米塚 弘悦	会員	5月28日
苫小牧東 R C	高柳 直己	会員	5月14日
	小幡 直樹	会員	5月14日
	櫻岡 義久	会員	5月14日
滝川 R C	伊藤 和男	会員	6月18日
当別 R C	朴 昶勲	会員	6月11日
	六角 英一	会員	6月11日



出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	10.05.31	増減	内女性	
1	深川	3	32	33	1	1	83.74
	羽幌	4	45	46	1	1	86.67
	妹背牛	3	9	9	0	0	81.48
	小平	3	11	11	0	0	81.82
	留萌	3	41	44	3	3	85.52
小計			138	143	5	5	83.85
2	赤平	3	29	31	2	0	81.60
	芦別	4	37	38	1	0	91.67
	砂川	3	55	53	-2	0	98.07
	滝川	4	96	95	-1	2	77.00
	小計			217	217	0	2
3	美幌	4	33	35	2	0	87.93
	江別	3	34	32	-2	1	85.42
	江別西	3	30	29	-1	3	83.90
	岩見沢	4	85	86	1	0	95.06
	岩見沢東	3	33	33	0	4	76.60
	栗沢	3	24	23	-1	1	93.80
	栗山	4	27	27	0	3	99.00
	当別	3	31	30	-1	0	85.85
小計			297	295	-2	12	88.45
4	札幌	3	102	122	20	0	96.64
	札幌あけぼの	4	13	14	1	1	100.00
	札幌はまなす	3	19	19	0	4	91.23
	札幌北	4	43	41	-2	6	95.00
	札幌モーニング	3	51	52	1	0	73.17
	札幌西	3	58	58	0	5	90.12
	札幌西北	4	40	39	-1	6	92.27
	札幌手稲	4	33	36	3	2	88.19
小計			359	381	22	24	90.83
5	札幌東	3	118	117	-1	0	97.84
	札幌清田	3	18	18	0	4	100.00
	札幌幌南	4	61	62	1	0	99.53
	札幌真駒内	3	31	30	-1	3	97.48
	札幌南	4	80	77	-3	0	98.71
	札幌大通公園	4	12	11	-1	2	84.10
	札幌セントラル	3	10	10	0	6	63.30
	新札幌	3	28	28	0	3	94.60
小計			358	353	-5	18	91.95
6	岩内	3	19	19	0	0	77.21
	倶知安	3	40	38	-2	4	72.50
	小樽	3	65	72	7	0	88.27
	小樽南	4	76	74	-2	2	90.50
	小樽銭函	3	22	23	1	2	75.00
	蘭越	4	9	9	0	0	88.88
	余市	3	41	41	0	3	88.00
小計			272	276	4	11	82.91

5月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,700人
当月末会員数(女性)	2,762人(109人)
増加会員数	62人
当月平均出席率	85.83%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	10.05.31	増減	内女性	
7	千歳	4	57	58	1	3	80.60
	千歳セントラル	4	37	38	1	2	88.25
	恵庭	3	35	44	9	2	89.92
	北広島	3	16	14	-2	0	85.76
	長沼	2	20	20	0	3	92.50
	由仁	4	11	9	-2	1	86.11
	小計			176	183	7	11
8	えりも	4	21	22	1	0	94.31
	三石	4	15	15	0	1	93.30
	様似	3	22	23	1	1	76.80
	静内	3	70	76	6	1	84.00
	浦河	3	36	35	-1	2	100.00
	小計			164	171	7	5
9	伊達	3	55	58	3	0	77.58
	室蘭	4	41	46	5	0	91.10
	室蘭東	2	36	40	4	0	72.50
	室蘭北	3	35	38	3	3	100.00
	登別	3	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	4	7	7	0	0	89.20
小計			205	220	15	4	85.71
10	函館	4	83	88	5	0	78.52
	函館亀田	4	42	38	-4	2	88.51
	森	4	34	40	6	0	68.00
	七飯	3	17	16	-1	0	71.80
	長万部	3	9	8	-1	0	79.16
	函館セントラル	3	31	32	1	2	66.67
小計			216	222	6	4	75.44
11	江差	3	18	14	-4	1	62.00
	函館五稜郭	4	55	56	1	0	100.00
	函館東	3	43	45	2	4	78.96
	函館北	3	28	26	-2	0	94.87
	北斗	4	17	17	0	1	63.20
	松前	4	5	3	-2	0	66.00
小計			166	161	-5	6	77.51
12	白老	3	28	30	2	1	85.00
	苫小牧	4	48	55	7	2	81.60
	苫小牧東	4	27	26	-1	2	83.65
	苫小牧北	3	29	29	0	2	93.96
	小計			132	140	8	7
合計			2,700	2,762	62	109	85.83

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	10.06.30	増減	内女性	
1	深川	5	32	33	1	1	90.19
	羽幌	4	45	49	4	1	95.83
	妹背牛	4	9	9	0	0	83.33
	小平	4	11	11	0	0	81.82
	留萌	4	41	43	2	3	80.93
小計			138	145	7	5	86.42
2	赤平	4	29	31	2	0	77.41
	芦別	4	37	38	1	0	89.58
	砂川	4	55	51	-4	0	96.17
	滝川	2	96	91	-5	2	79.00
小計			217	211	-6	2	85.54
3	美唄	4	33	35	2	0	90.51
	江別	4	34	32	-2	1	92.19
	江別西	5	30	25	-5	3	88.30
	岩見沢	4	85	81	-4	0	95.54
	岩見沢東	5	33	27	-6	4	78.52
	栗沢	5	24	23	-1	1	100.00
	栗山	4	27	25	-2	2	97.04
当別	5	31	30	-1	0	88.33	
小計			297	278	-19	11	91.30
4	札幌	5	102	115	13	0	96.71
	札幌あけぼの	4	13	13	0	1	100.00
	札幌はまなす	4	19	18	-1	4	89.47
	札幌北	4	43	35	-8	6	90.50
	札幌モーニング	4	51	51	0	0	76.38
	札幌西	4	58	56	-2	5	90.15
	札幌西北	4	40	35	-5	5	91.57
	札幌手稲	4	33	34	1	2	90.97
小計			359	357	-2	23	90.72
5	札幌東	3	118	109	-9	0	99.40
	札幌清田	4	18	18	0	4	100.00
	札幌幌南	4	61	56	-5	0	100.00
	札幌真駒内	4	31	26	-5	3	97.32
	札幌南	4	80	74	-6	0	97.44
	札幌大通公園	4	12	11	-1	2	84.00
	札幌セントラル	4	10	10	0	6	67.50
	新札幌	5	28	28	0	3	93.35
小計			358	332	-26	18	92.38
6	岩内	4	19	17	-2	0	78.47
	倶知安	5	40	38	-2	4	75.20
	小樽	5	65	68	3	0	89.60
	小樽南	4	76	74	-2	2	90.43
	小樽銭函	4	22	23	1	2	67.00
	蘭越	3	9	9	0	0	96.26
	余市	5	41	41	0	3	88.00
小計			272	270	-2	11	83.57

6月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,700人
当月末会員数(女性)	2,637人(105人)
増加会員数	-63人
当月平均出席率	86.89%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	10.06.30	増減	内女性	
7	千歳	4	57	54	-3	2	84.50
	千歳セントラル	4	37	34	-3	1	85.00
	恵庭	4	35	44	9	2	87.60
	北広島	3	16	11	-5	0	90.48
	長沼	4	20	20	0	3	82.50
	由仁	4	11	9	-2	1	86.11
小計			176	172	-4	9	86.03
8	えりも	4	21	22	1	0	94.31
	三石	4	15	15	0	1	86.60
	様似	5	22	23	1	1	78.30
	静内	5	70	74	4	1	83.46
	浦河	5	36	35	-1	2	100.00
小計			164	169	5	5	88.53
9	伊達	5	55	56	1	0	80.35
	室蘭	4	41	42	1	0	100.00
	室蘭東	5	36	38	2	0	81.54
	室蘭北	5	35	38	3	3	100.00
	登別	5	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	4	7	7	0	0	89.20
小計			205	212	7	4	89.16
10	函館	4	83	82	-1	0	74.59
	函館亀田	4	42	35	-7	2	89.19
	森	4	34	39	5	0	69.50
	七飯	4	17	14	-3	0	80.40
	長万部	4	9	8	-1	0	78.10
	函館セントラル	4	31	29	-2	2	70.69
小計			216	207	-9	4	77.08
11	江差	4	18	14	-4	1	78.00
	函館五稜郭	4	55	45	-10	0	95.38
	函館東	4	43	44	1	4	82.67
	函館北	5	28	25	-3	0	92.89
	北斗	4	17	17	0	1	66.00
松前	4	5	3	-2	0	66.66	
小計			166	148	-18	6	80.27
12	白老	5	28	29	1	1	85.00
	苫小牧	4	48	53	5	2	76.54
	苫小牧東	4	27	25	-2	3	89.42
	苫小牧北	4	29	29	0	1	100.00
小計			132	136	4	7	87.74
合計			2,700	2,637	-63	105	86.89



1年間、多くの記事の投稿、ご購入にご協力を戴き、担当者一同、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

新年度のガバナー月信編集担当者の皆さまのご健闘をご祈念申し上げます

09～10年度編集委員：安立德章・石黒安雅・鈴木英也
中川一郎・中島 健・深澤和範
福井義昭・細田光人・松原 章



ロータリーの未来は
あなたの手に

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

国際ロータリー第 2510 地区
2009-2010 年度 ガバナー



渡 邊 恭 久

2009-2010 Governor
Yasuhisa Watanabe

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F
TEL 011-207-2510 FAX 011-207-2512 E-mail : rid2510@rotary.gr.jp
<http://www.ri2510.gr.jp/>